

「西成特区構想」 5年の延長が決定！

吉村市長に有識者提言を提出 < 2018年4月18日 >

西成特区構想5年の成果を継承しながら『再チャレンジできる街』をコンセプトに、現在実施している萩之茶屋及び周辺地域における実態調査やまちづくり会議を受けて今秋策定される「まちづくりビジョン」を政策に位置付けてほしい。という提言。

とくに、各局（所轄）を横串化（連携）しながら、今なお手つかずの重要テーマである「子育て世帯対策」・「労働・福祉のサービスハブ」・「ハウジング」をキーワードとする「モデル事業」を施策として実施してほしい。というメッセージを出すことが目的であった。

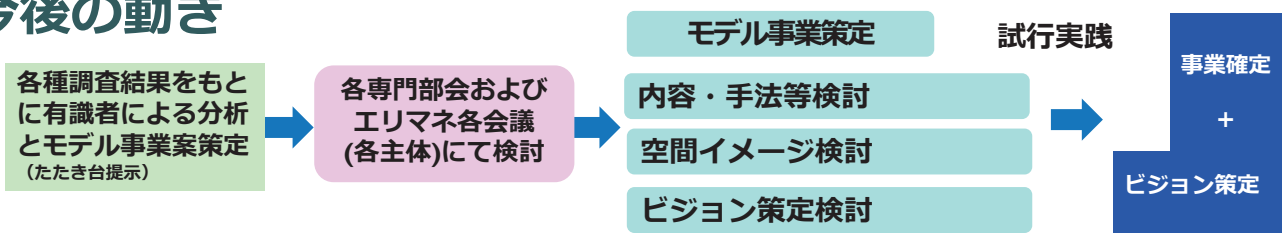
* 西成区HP：
<http://www.city.osaka.lg.jp/nishinari/page/0000433172.html>

「西成特区、あいりん地域のまちづくりについては、次の5年も市の背骨になる方針としてきちんとやっていく。一方で、西成特区構想の進め方については非常に重要なこととして位置付けており、まちのみなさんとボトムアップで積み上げてきたやり方を大事にし、トップダウンでがっちり固めていきたいと思っている。」（吉村市長）



あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】

今後の動き



調査活用とイメージスタディにむけて

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月～
労働施設検討会議	労働関係調査（府調査） まとめ中 <353ケース> * 特掃・シelters除く		モデル事業 + イメージ化提案 (各部会・有識者)	調査報告 + モデル事業案検討	● 本移転の機能 ボリューム検討			モデル事業の確定と試行実施 ← 検証
駅前検討会議	機能について検討中 「降りたくなるまち」 (公募要件的なもの)							
特区構想 まちづくりビジョン調査	特区・ビジョン調査 ・ビジョン：475ケース ・個別：1385ケース	・調査中間報告 ・イメージ化作業開始確認			● ビジョン策定へ 各部会にて			
有識者による関連調査	外国人・住宅・民泊調査など							
その他 地域各主体で実施された関連調査								
		情報共有・検討						
		これらデータを各部会関係およびエリマネ会議にて活用						

あいりん地域まちづくり会議検討用資料（調査中間報告）【寺川資料】